

韓国介護保険の最近動向



2024.3.9. 日本福祉大学

金道勲

(高麗大学高齢社会研究院、国立社会保障・人口問題研究所)

目次

- ・ 韓国介護保険制度の概要
- ・ 第3次介護保険基本計画（2023～2027）
- ・ 2024年制度改編
- ・ 介護保険の役割と政策方向

1. 韓国介護保険制度の概要

- 【目的】 高齢、老人性疾病などで日常生活が一人でできない高齢者などに身体・家事活動などを支援し、老後生活の安定と家族の負担を緩和
- 【実施】 2007年制定、2008年実施
- 【対象】 ①65歳以上の者又は、②65歳未満の老人性疾病を有する者で6ヶ月以上自ら日常生活を行うことが困難な者
- 【給付】 27,484
在宅 21,334：訪問介護、訪問看護、訪問入浴、デイケア、福祉用具
施設 6,150：高齢者介護施設、高齢者介護共同生活ハウスなど
特別現金給付：家族介護費

1. 韓国介護保険制度の概要

- ・【認定者】 101.9万人（高齢者人口の10.9%）
- ・【利用者】 86.1万人
- ・【等級】
 - 1～2等級：在宅、施設、認知症家族休み制
 - 3～5等級：在宅、認知症家族休み制
 - 認知支援等級：デイケア、認知症家族休み制

2. 第3次介護保険基本計画

- 【経過】 2023.6月公聴会、8月介護保険委員会の確定
受給者と事業者の急増
 - 【ビジョン】 超高齢社会を隙間なく準備する介護保険
 - 【目標】
住んでいた所で十分で多様な介護を受けられるよう介護サービス強化
楽で安全に利用できる持続可能な介護保険
- このため、4つの推進戦略と12の核心課題

1) 自宅で適切な介護サービスを提供するように 介護サービスの強化

- 1.2等級の在宅介護利用者の
月限度額の引上げ
- 隨時訪問サービスの導入
- 統合在宅介護サービスの拡大
- 在宅環境改善モデル事業（住宅改修）
- 移動支援モデル事業
- 家族相談サービス 227
- 認知症家族休み制を介護家族休み制へ
- 在宅医療センター 28

1,400

2) 徹底的に支援するオーダーメイド型の 介護サービスの利用システムの構築

- 自治体の地域支援サービス、
保健所の訪問健康管理サービスの連携
- 健保公団の検診との連携
- 事例管理（ケアマネジメント）協力体制
- 統合的判定ツールの開発と連携
- 新規の在宅サービス
- 給付外の情報提供とモニタリング
- 新技術の福祉用具

3) 安心できるように介護サービス事業所の質の管理

- 公立・民間の介護保険施設の拡大
 - * 賃借問題
- 新規施設のユニット化
- 専門介護室の拡大
- ホームヘルパーの配置比率
 - ホームヘルパーの昇給制
 - 介護サービス事業所へ指導監督
 - 高齢者虐待対策：CCTV
 - 介護従事者の処遇改善
 - 外国人の介護人材

4) 超高齢社会に対応する介護保険制度の持続可能性の向上

- 要介護者と介護サービスについての事前・後の適正な管理
 - 国と自治体の連携
 - ビックデータに通じる介護ニーズの予測
 - 介護技術
- 保険料、公費支援
- 介護サービスの質の管理
- 現地調査、公益申告

3. 2024年の制度改編

- 【在宅給付の活性化】
 - 介護等級1・2：利用限度額の引上げ
 - 8時間の訪問介護の利用可能回数を月6日から8日へ
 - 介護家族休み制の拡大
 - 在宅医療センター、統合在宅サービス、在宅高齢者住宅の安全環境作り
- 【ホームヘルパー待遇改善】
 - 昇給制、先任ホームヘルパー
 - 訪問介護のホームヘルパーの補習教育

4. 介護保険制度の役割と政策方向

- 【超高齢化社会】
2025年20.3%、2040年34.3%
- 【介護保険の問題】
インフラの不足
介護ニーズと選択権の弱さ
地域別の供給格差
供給者の間の過度な競争
ホームヘルパーの劣悪な労働環境

4. 介護保険制度の役割と政策方向

- 【高齢者の尊厳性の実現】
 - 自己決定権と自己選択権
 - リハビリサービス
 - 成人後見制
- 【介護労働の価値認定】
 - ホームヘルパーと非公式介護者
 - 仕事と介護の両立
 - 介護従事者の教育、公正な賃金、いい労働環境

4. 介護保険制度の役割と政策方向

- 【財政の確保】
 - 2035年Baby-boomer世代の80歳
 - 保険料、公費支援20%
 - 介護保険基金
 - 介護保険実態調査

【地域包括ケア】

ありがとうございました

金道勲

tokyonhic1@yahoo.co.jp